

やまぐち未来創発塾について

1. やまぐち未来創発塾の概要

Society5.0実現に向けたイノベーション創出を担う博士後期課程学生、高い専門性とイノベーションマインドを持つ異分野融合研究実践人材を育成するために、イノベーション教育の大学院全体への展開と異分野融合研究の実践場として、事業統括を塾長とする「やまぐち未来創発塾」を開設し、選抜学生を教育します。本塾では、トランスファラブルスキル、キャリアデザイン、国際性、研究力（異分野融合研究発想・駆動力）を涵養する教育プログラムを実施します。さらに、相互触発と異分野融合研究の実践場として、異分野3人組グループ（シン・文殊グループ）を設置し、トランスファラブルスキルを磨くとともに、異分野融合研究の実践に挑戦します。また、卒業生については、その後のキャリアについて10年以上、追跡調査を行い、育成效果の評価を行います。JGRAD(*1)を利用したキャリア追跡調査への協力は、支援を受けた学生の義務事項です。

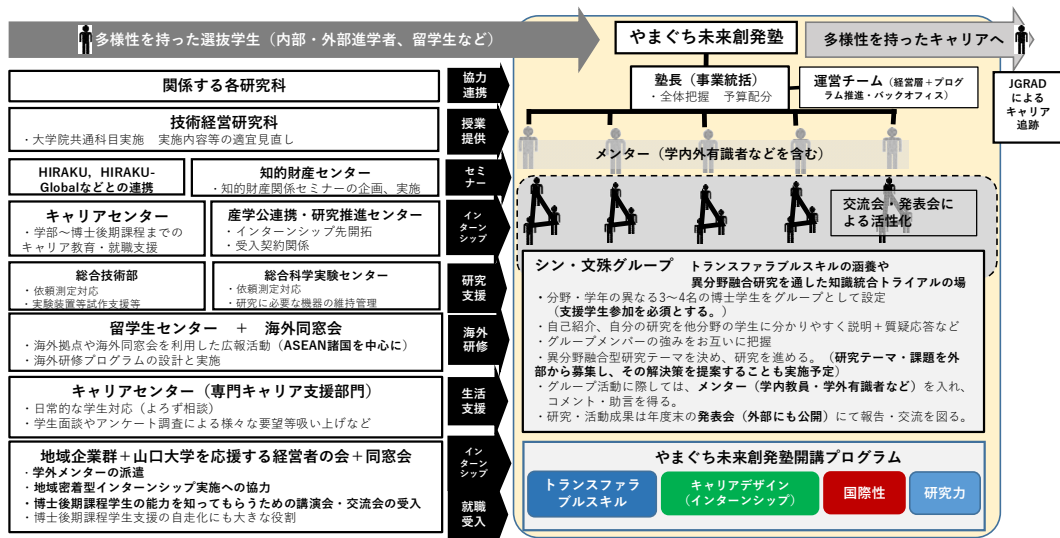


図 やまぐち未来創発塾の概要

2. やまぐち未来創発塾の卒業人材像

やまぐち未来創発塾において育成を目指す人材は、自らの専門の殻に閉じこもらず、異分野融合研究に積極的に取り組むマインドを持つ人材と総括できます。

以下の例に示すように各研究科いずれの育成人材像にも共通する語句は「イノベーション創出」であり、5つの力（関連づける力、質問力、観察力、ネットワーク力、実験力）を自分のものにすることを、やまぐち未来創発塾の目標とします。

・出身研究科別の卒業人材像(例)

【創成科学研究科修了生】

自らの専門を持つと共に、異分野融合型研究などにも興味を持ち、異分野融合型研究を実施するための基本的なスキルとイノベーションマインドを持った研究者・高度専門職業人

【医学系研究科修了生】

医療現場における様々なニーズ、新しい発想に基づく治療技術を実現するために必要な異分野融合研

究などに関心を持ち、様々な医療技術を開発することで医療現場の変革や医療そのものの考え方をええようとする医療従事者

【共同獣医学研究科修了生】

動物医療現場における様々なニーズ、新しい発想に基づく治療技術を実現するために必要な異分野融合研究などに関心を持ち、様々な治療技術を開発することで動物医療現場の変革や動物医療そのものの考え方をええようとする獣医師やその関係者

【東アジア研究科修了生】

自らの専門を持つとともに、異分野融合型研究などにも興味を持ち、異分野融合型研究を実施するための基本的なスキルとイノベーションマインドを持ち、総合知の集積を行う研究者・高度専門職業人

3. やまぐち未来創発塾開講プログラム

やまぐち未来創発塾では、イノベーション創出人材に必要な5つの力（関連づける力、質問力、観察力、ネットワーク力、実験力）の根源とも考えられる①トランスファラブルスキルのほか、②キャリアデザイン、③国際性、④研究力（特に異分野融合研究の発想・駆動力）の4点を涵養する教育プログラムを実施します。なお、教育プログラムの受講方法については、入塾後、詳細に説明します。

①トランスファラブルスキル涵養と実践の場の提供

- ・「対課題スキル」涵養には、創成科学研究科の大学院共通科目群（イノベーション教育科目）を利用します。この科目群は、リサーチメソドロジー特論、イノベーション特論、技術ロードマッピング特論、製品開発特論から構成されており、選抜学生は、このうちから最低1科目の受講を必須とします。（開講時期、開講方法については、入塾後、説明します。）
- ・「対自己スキル」涵養は、「対課題スキル」で涵養した能力に基づいて自分の研究を分析することにより実施します。また、別途、開催予定の各種セミナーを履修することによっても、この能力を伸ばします。
- ・「対人スキル」涵養には、大学院共通科目として提供されている「プレゼンテーション特論」、「サイエンティフィックライティング」の履修を推奨します。
- ・このように涵養したトランスファラブルスキル実践の場として、異なる学年、研究科、専攻の学生3人を1組としたグループ（シン・文殊グループ）を構築します。支援学生は、本活動に積極的に参加することが必須となっています。このグループの活動については、後述にて説明します。

②キャリアデザインの涵養と実践の場の提供

- ・博士後期課程学生に多様なキャリアパスを考えさせるきっかけを与える講義として、キャリアデザインⅡを開講します。この講義では、学外講師（企業関係者、ベンチャー起業家）や学内講師（研究科長など）から、博士後期課程修了後の多彩なキャリアパスの可能性について講演してもらいます。この講義の受講を強く推奨します。また、キャリアパス構築の参考となるセミナーも随時開催します。
- ・インターンシップは、キャリアデザインの実践の場であり、インターンシップ先への博士後期課程学生の派遣については、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会の仕組みを利用する方法などがあります。本学キャリアセンター・専門キャリア支援部門にお問い合わせください。

③国際性涵養と実践の場の提供

- ・国際性涵養には、英語をコミュニケーションツールとして使うための各種セミナーなどを開催します。また、学

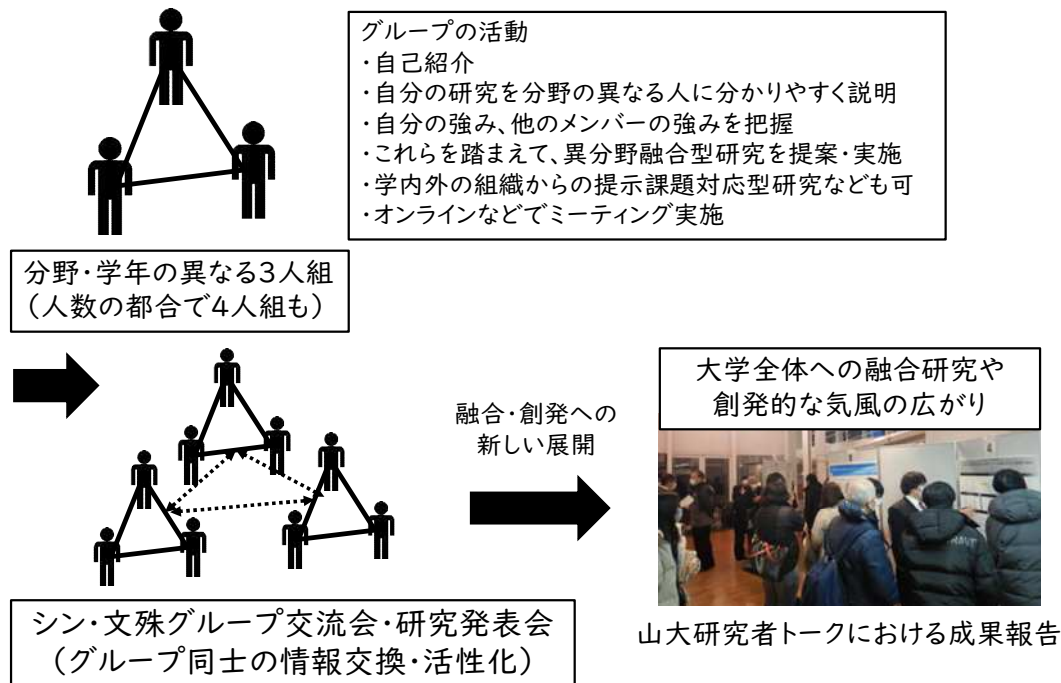
内で実施される各種セミナーには、積極的に参加してください。

・国際性を伸ばす実践の場としての海外研修については、各研究科において独自に実施されている海外派遣制度などを利用します。なお、支給される研究費は、学生本人の海外旅費として利用可能です。また、別途、海外旅費支援の募集も実施予定です。

④研究力の涵養と実践の場の提供（特に異分野融合研究を中心に）

・博士後期課程学生の研究力のうち、やまぐち未来創発塾では、異分野融合研究力を涵養することを目指しています。その仕組みとして、①で触れた、学年、研究科、専攻の異なる3人組グループ（シン・文殊グループ）を構築、その活動による相互触発を誘導、これを起点とする異分野融合研究をより実践的なものとします。

シン・文殊グループ概要



- ・本塾において涵養を目指す能力の実践の場として設定
- ・各グループにメンターを配置、活動の進捗状況を把握する。必要に応じて助言するものの、過干渉にならないように留意します。
- ・メンターとして本学教員の他、周辺企業・公設試の関係者も参画予定です。

参照事項

(*1) JGRAD 博士人材データベース (JGRAD) とは、社会における博士人材の活躍状況を幅広く把握するため、文部科学省の国立試験研究機関である科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) が2014年より整備を進めている情報基盤プラットフォームの名称。詳細は、以下のURLから、『博士人材データベース (JGRAD) とは』などをご参照ください。なお、やまぐち未来創発塾の塾生は、必ず登録してください。

■参考URL <https://jgrad.nistep.go.jp/> (次ページにアクセス用の二次元コードを掲示しています。)

科学技術・学術政策研究所(NISTEP) HP



(*2)ジョブ型研究インターンシップ推進協議会とは、大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、Society 5.0 に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを図ることを目的として設立された組織。定期的に行われる説明会(ほぼ毎月1回実施、オンライン)を参考に、塾生はインターンシップへの参加希望の有無に関わらず、マッチングシステムに必ず登録してください。なお、登録に際しては、指導教員のメールアドレス及びキャリアセンターの専門キャリア支援部門のジョブ型研究インターンシップ専用メールアドレス(tryjb_at_yamaguchi-u.ac.jp _at_は@にしてください。)を必ず登録してください。そうしないと、皆さんがジョブ型研究インターンシップに参加や企業とのマッチングの進捗状況などが、こちらでは分かりませんので、よろしく願います。